

エクセル de データベース 運用編

このたびは、当社製品版エクセルアドイン「エクセル de データベース」をお買い上げいただきありがとうございます。当ソフトウェア説明書はソフトウェアの仕様変更及び機能改善等によりソフトウェア本体と一致しない場合がありますのでご了承ください。

◎ はじめに

本ソフトウェアは、エクセルブックにデータベース機能を追加するエクセルアドイン(.xla)です
以下の説明は当アドインが組み込まれていることを前提として記載します。

ここでは、「写真アルバム」を例にして説明しています。

1. データベースの初期設定をする

基本セットとして、見積請求・見積シンプル・FAX送付状・工事写真アルバム・名刺10面・情報マガジンが販売されています(2010/12/24)。

1. お買い上げの基本セット内の2ファイル(見積請求.xls と Text_DB2.xla)を他のフォルダにコピーします。
2. コピーされたエクセルブック(見積請求.xls)を作成するものに相応しい名前に変えます。
3. 今回は「写真アルバム.xls」に換えました。
4. 「写真アルバム.xls」を【マクロ無効】で開きます。
5. 保護が掛かっている場合は、[ツール]-[保護]-[保護の解除] を実行します。
6. 次のように入力シートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
1	最前	前頁	次頁	最後	複写	新規	削除	一覧	印刷	保存		ファイル貼付 紙基準	ファイル貼付 横基準	選択した 画像削除	不要画像 削除	
2																
3																
4																
5						管理番号	1							検索		
6																
7						作品タイトル										
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26						撮影者										
27																
28						撮影日										
29																
30						撮影場所										
31																
32						コメント										
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																
41																
42																
43																
44																
45																

- 入力シートが完成したら次に設定シートの設定を行います。
- 設定シートは、以下のようになります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
1	作業シート	入力	メインシートの名前				データ作成	新規データ作成ボタン、下記の項目の新規データフォーム							
2	検索シート	検索	検索、一覧用シートの名前												
3	管理番号	G5	データ番号の入るセル位置												
4	検索キー	K5	検索使用する語句を記入するセル位置				画像貼付け機能	使用する							
5	フォルダ名	← データベースを形成するフォルダ名を別タブで記入、設定なしの場合は同一フォルダ													
6	項目名	セル位置	式	一覧	検索	初期値 (数式可)	画像フォルダ名								
7	管理番号	G5		<input type="radio"/>											
8	作品タイトル	G8		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>										
9	写真	F10		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>										
10	撮影者	G26		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>										
11	撮影日	G28		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2010/12/24									
12	撮影場所	G30		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>										
13	コメント	G32													
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															

使用方法

このソフトは、エクセルのシートのセルの値をテキスト形式で出力できます。

まず作業用の入力シートに、ご自身で自由なデザインでデータを入力してください。

右の表に、保存したい入力シートのデータのセル番地と項目名を入力してください。

計算式が入る項目には、式の列に○印を入力しておきます。データ入力時に、データが上書きされません。

一覧の列に○印を記入すると一覧ボタンや検索ボタンで検索したデータの指定した行でダブルクリックすることによって表示できます。

検索の列に○印を入力すると指定した項目から指定した語句を検索キーで指定したセル内に絞り込みたい語句を入力し検索が表示できます。

デフォルト列には、新規ボタンを押したときに最初から入力したデータが作成されます。

- セル(F11)には、数式(“=TODAY()”)が入っています。
- ここまで準備ができたなら一度、「写真アルバム.xls」を保存して終了します。
- 再度、「写真アルバム.xls」を【マクロを有効にする】で開きます。
- 「…設定シートで作成してください」とメッセージが表示されますがそのまま進みます。
- 設定シートの【データ作成】ボタンをクリックします。
- 確認メッセージが2回表示されますので、「はい」で進みます。
- 「新規データが作成されました」と表示されます。(自動消滅)
- この段階で、同フォルダ内に以下のデータが新規作成されています。
 - ・写真アルバム.txt : データベースファイルです
 - ・写真アルバム : 画像貼付け機能使用時の画像保存フォルダです
- 以上でデータベースの初期設定は終了しました。
入力シートに切り換えてデータ作成して下さい。



2. 設定シート各設定部の説明

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
1	作業シート	入力 ①	メインシートの名前				⑥	データ作成	新規データ作成ボタン、下記の項目の新規					
2	検索シート	検索 ②	検索、一覧用シートの名前											
3	管理番号	G5 ③	データ番号の入るセル位置											
4	検索キー	K5 ④	検索使用する語句を記入するセル位置				画像貼付け機能		使用する ⑦					
5	フォルダ名	⑤	← データベースを形成するフォルダ名をフルパスで記入、設定なしの場合											
6	項目名	セル位置	式	一覧	検索	初期値（数式可）	画像フォルダ名 ⑧							
7	管理番号	G5		○			使用方法 このソフトは、エクセルのシートのセルの値をデータとして出力します。 まず作業用の入力シートに、ご自身で自由なデータを入力してください。 右の表に、保存したい入力シートのデータのセル位置を記入してください。 計算式が入る項目には、式の列に○印を入力し、データが入力されたときに、データが上書きされません。 一覧の列に○印を記入すると一覧ボタンで検索							
8	作品タイトル	G8		○	○									
9	写真	F10		○	○									
10	撮影者	G26		○	○									
11	撮影日	G28		○	○	2010/12/24								
12	撮影場所	G30		○	○									
13	コメント	G32												
14														
15	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭								
16														
17														
18														

- ① データを作成する時の主シート名です、初期値は[入力]になっています。
変更した場合のシート見出しは手動で変更してください。
- ② データ一覧表やデータ検索結果を表示するシート名です、初期値は[検索]になっています。
変更した場合のシート見出しは手動で変更してください。
- ③ データベースのキーになるデータです、主シートに必ず配置し、ここにはそのセル位置を記入します。
(後述するボタン説明の ⑮ 参照)
- ④ 検索機能を使用する際の検索キーを入力するセル位置を記入します。
(後述するボタン説明の ⑰ 参照)
- ⑤ 空白の場合は、データベースファイルと画像保存用フォルダはエクセルブックと同じフォルダに生成されます。
ここにフルパスでフォルダ名を設定すると上記データは設定されたフォルダに生成されます。
[設定例] c:\excel\data\ / server\data\ (サーバー使用の例)
- ⑥ 各設定が全て終わったらこのボタンをクリックしてデータを生成します。
既にいくつかのデータが存在する場合でも、全て消去されますので注意が必要です。
- ⑦ 画像処理機能(後述するボタン説明の ⑪ ~ ⑭ のボタン)を使用しない場合は「使用しない」に設定します。
※画像機能を使用すると主シートに [挿入] - [図] で独自の画像を貼付けてもページ送り等の処理時に削除されます。特に画像処理機能をしようしない場合は「使用しない」に設定してください。
- ⑧ ファイルからの画像貼付け時に参照するフォルダを保持する場所です。設定の必要はありません。
- ⑨ データベース管理するセルの名称です、分かりやすい名前を記入して下さい。
- ⑩ データベース管理するセルのセル位置です。
- ⑪ 数式が入る場合は「○」に設定して下さい。
- ⑫ 一覧表や検索結果に表示させたい項目の場合は「○」に設定して下さい。
- ⑬ 検索キーで探す項目の場合は「○」に設定して下さい。
- ⑭ [新規]ボタンでデータを作成する際に、初期値として必要な場合は設定して下さい。数式も使用できます。

3. 主シート各機能ボタンの説明ほか

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
1	最前	前頁	次頁	最後	複写	新規	削除	一覧	印刷	保存		ファイル貼付 縦基準	ファイル貼付 横基準	選択した 画像削除	不要画像 削除	
2																
3	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩						
4																
5							管理番号	1								
6															検索	
7																
8							作品タイトル									
9																
10																
11																
12																
13																
14																

- ① 【最前】最初のページを表示します。
- ② 【前頁】前のページを表示します。
- ③ 【次頁】次のページを表示します。
- ④ 【最後】最後のページを表示します。
- ⑤ 【複写】表示しているページを新規ページへ複写します。
- ⑥ 【新規】新規ページを作成します。
- ⑦ 【削除】表示しているページを削除します。
- ⑧ 【一覧】検索シートに全データを表示します。
- ⑨ 【印刷】表示しているページのプレビュー表示しますので、確認して印刷して下さい。
- ⑩ 【保存】表示しているページを保存します。編集後必ず押して下さい。
- ⑪ 【ファイル貼付 縦基準】 画像を貼付けたいセルを選択後クリックするとファイル選択画面が表示されます、貼付けたい画像ファイルを開くとセルのタテ(高さ)に合わせて貼付きます。
- ⑫ 【ファイル貼付 横基準】 上と同じ機能です。 選択セルのヨコ(幅)に合わせて貼付きます。
- ⑬ 【選択した 画像削除】 削除したい画像を選択後クリックすると削除されます。
- ⑭ 【不要画像 削除】 画像貼付け機能では、誤って基画像を破壊することのないように一度、目的の画像を自らが保持しているフォルダに複写してからエクセルブックに貼付けています、そのため「貼付け」、「削除」を繰り返していると全く使用していない画像データができてしまいます。
このボタンを使用すると不要な画像ファイルを全て削除します。
- ⑮ 【管理番号】で設定したセル
- ⑯ 【検索キー】で設定したセル